

プレスリリース

能登半島地震への除菌液 30 トンの支援と現地搬送について

能登半島地震での避難生活は長期にわたり、いまだに多くの人たちが不便で不衛生な状況で生活されています。

一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議（JFK）では、1月4日に支援物資として次亜塩素酸水 30 トンと 5000 本のスプレーボトル、300 台の超音波霧化機を石川県に申し出て支援登録しています。

現地での悪臭の悩みや感染の広がり等の報道を見て被災自治体へ連絡したところ、避難所のトイレの悪臭が取れて安全に感染対策を行えるものであればぜひ送ってほしいとの希望があり、このたび上記資材の第一弾を北海道の札幌倉庫からトラック搬送することといたしました。

1月25日に札幌市の JFK 会員倉庫から積み込み出発し、苫小牧港からフェリーで新潟港を経由して27日に七尾市と穴水市の指定場所に到着します。

JFK 会員のメーカー社長自らが運転し現地にて姫路、大阪、仙台の会員社長が合流して避難所での積み下ろし、器具の設置と悪臭対策、感染対策の指導を行います。

石川県の支援物資担当者と相談したところ、直接の被災市町村からのリクエストがあれば県への登録数量が減ったとしても現地に配送してもらって構わないとのこと。クロネコヤマトでは能登事業所までは届けることができるが、それ以降は取りに行かなくてはならないとのことで、避難所で今日も臭いや衛生に悩んでいらっしゃる皆様のために一刻も早くその解決のお手伝いをしたいとの思いで、今回札幌から直接届けることになりました。

現地での使用法を説明して、政府支援物質リストにある「次亜塩素酸ナトリウム」との違いと注意点を伝えるのも我々の役割と考えています。

（次亜塩素酸ナトリウムは漂白剤、黴トリ剤で加湿器に入れると大変危険です。）
次亜塩素酸水は安全な液剤で高い消臭効果と強力な除菌力を持つため、ノロウイルスや新型インフルエンザ対策、新型コロナウイルス対策としても活用されており、過去にも東日本大震災や熊本地震、胆振東部地震などでも支援、活用されています。

なお能登地震への支援内容と除菌の詳細、避難所での次亜塩素酸ナトリウムの加湿器使用による事故例(厚労省警告)などについては JFK ホームページに掲載してありますので以下をご覧ください。

[能登半島地震の避難所に次亜塩素酸水の寄贈を申し出ています | 一般社団法人次亜塩素酸水溶液 普及促進会議 \(jia-jp.net\)](#) 検索⇒次亜塩素酸水溶液普及促進会議

地元の避難所の皆様からのリクエストがあれば、石川県が登録支援物資とのマッチングを行ってまいりますので、ぜひメディアの皆様への現地報道でこのような資材が登録され、活用できることをお伝えください。リクエストをいただければ石川県要請により第二弾以降の配送も全国 JFK 会員に呼びかけます。

今回の北海道札幌からの第一陣の配送内容とスケジュールは以下の通りです。

[第一弾支援物資配送内容]

- ・直ぐに使える次亜塩素酸水溶液、20ℓ入り10箱（50ppm換算で0.8トン分相当）
- ・高純度次亜塩素酸水溶液生成パウダー50g12箱入り6ケース、72箱（50ppm換算で28.4トン分相当）
- ・1リットルスプレーボトルセット40ロット2,720組
- ・除菌・消臭用、次亜塩素酸水溶液専用超音波加湿器34ロット、204台
- ・停電対策用電流制限装置付きドラムコード4ロット24台

[支援活動スケジュール]

- 1月25日 チャータートラックにて札幌出発午後2時⇒苫小牧港からフェリー
26日 新潟港到着後、陸路にて高岡市へ午後8時頃到着（JFK理事会員と合流）
27日 陸路、七尾市へ（現地午前10時頃着）荷下ろし、現地指導・使用説明等
⇒穴水町へ、同荷下ろし、現地指導・仕様説明等
28日 帰路（現地応援スタッフは要請に応じて引続き現地にて指導支援の予定）
29日 札幌帰着

[問い合わせ先]

今回の搬送と現地支援について ESI(株) 菊地携帯 090-3390-2706

業界団体としての支援取組みについては
JFK代表理事越智携帯 090-6697-5059

日本除菌連合会長／一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事
越智文雄

札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル4F

TEL 011-757-6317 FAX 011-876-0826

TEL 0120-760-814

Mail: info@jia-jp.net

<https://jia-jp.net/>
